

協定企業名	四国電力株式会社
交流行事名	協働の森「四万十よんでんの森」森林整備体験学習
開催日時	平成24年5月16日(水)9時20分～13時
開催場所	四万十町瀬里轟山「四万十よんでんの森」(リバーパーク轟)
主な参加者	四国電力、窪川高校1年生、四万十高校1年生、NPO朝霧森林クラブ、四万十町森林組合、四万十町職員、高知県職員 総勢104名
交流行事概要	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶：四国電力(株)長瀧中村支店長、四万十町 高瀬町長、高知県 小松環境共生課長 ・協働の森づくり事業の紹介 高知県担当者(宮田) ・四万十よんでんの森について 四万十町担当者(佐竹) ・記念撮影 ・窪川高及び四万十高自然環境コースの1年生と協働で行う桜植樹・下草刈り、シイタケ菌打ち体験 ・NPO朝霧森林クラブ池田さんの“森林の話” ・「地場産品の話」 四万十町 熊谷農林水産課長 ・「海洋堂ホビー館の話」四万十町 宮地商工観光課長
交流ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・「桜植樹・下草刈り体験」では、高校生が班ごとに分かれ、四国電力の社員の皆さんとともにシャベルや鎌や鍬などを使い「リバーパーク轟」の上の斜面で下草刈りを行った後、穴を掘り桜の木を植樹しました。斜面での作業ではみんな苦労していました。 ・「シイタケ菌打ち体験」では、森林組合の職員や四電の社員の皆さんと四万十町役場の職員の皆さんが手分けして、高校生に作業の見本を見せては熱心に指導をしていました。さすがに本場「大正のシイタケ」のホダ木はモノが違います。 ・NPO朝霧森林クラブの方から“森のはなし”を聞きました。写真を見ながら森林の大切さについて理解を深めました。 ・今年は、「四万十よんでんの森」の話や大正のシイタケや窪川パークなどの「地場産品」の話、昨年度に四万十町の打井川で開館した「ホビー館」の話などもあり、有意義な時間を過ごしました。

